

2015年11月号 第345号 bestopia.jp パリ通信 第47号 jkoga.com

高校生諸君へ

今月は日露戦争の復習と関係諸外国への影響について学びます。

20世紀最初の大戦となった日露戦争は関係諸国のみならず世界に大きな影響を与えました。特に、ヨーロッパではナポレオン戦争の甚大な被害から戦争を回避する機運が高まり、暫く平和な時を享受していた矢先に起こった日露戦争は悪夢の再来と受け取られました。

日露戦争から何を学ぶか(2)?

ロシア	日本	アメリカ
1904 日露戦争	1904 日韓議定書 第1次日韓協約	
1905 ポーツマス条約	1905 第2次日韓協約	1905 桂・タフト協定 (韓)
1906	第2次日英同盟協約 1906 関東都督府を設置 南満州鉄道(株)設立	桂・ハリマン協定 1906 日本人学童排斥問題
1907 第1次日露協約	1907 第3次日韓協約 樺太庁を設置	1907 日本人移民排斥問題
1908	1年入月で改画	1908 高平・ルート協定
1909	1909 伊藤博文暗殺	1909 満州鉄道の中立を提案 日露に拒否される
1910 第2次日露協約	1910 韓国併合 朝鮮総督府を設置	
1911	1911 第3次日英同盟協約	
1912 第3次日露協約	辛亥革命(中国)	1911 日米通商航海条約改正
1916 第4次日露協約		

今回は以下の7項目の視点で記します

- 1, 関東省と満州経営ーーー後に日本の侵略の基地となる関東省の位置を確認する。
- 2、日露協約、仲良くすることが戦略的に有利となる
- 3、米国との関係悪化・桂=ハリマン協定破棄
- 4,韓国併合とその支配様相
- 5、大逆事件の意味すること
- 6, 反戦論・非戦論者の予言的発言

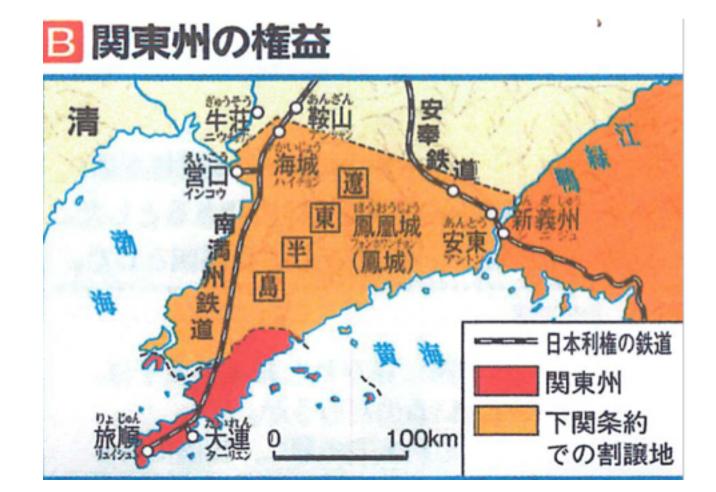
いずれも太平洋戦争への前触れがうかがわれます。

今月起きたパリでの新しい形の戦争も韓国併合後の植民地支配の中に類型を見ることができます。

1、関東省と満州経営

(1)関東省の位置を地図で確認します。

日清戦争・下関条約で割譲され、三国干渉で返還(後にロシアが支配権を取る) したのは遼東半島全体でしたが、ポーツマス条約で日本が得た権益は地図上の赤 い部分旅順・大連とその先少しの領土の租借と長春~旅順口までの鉄道経営権で



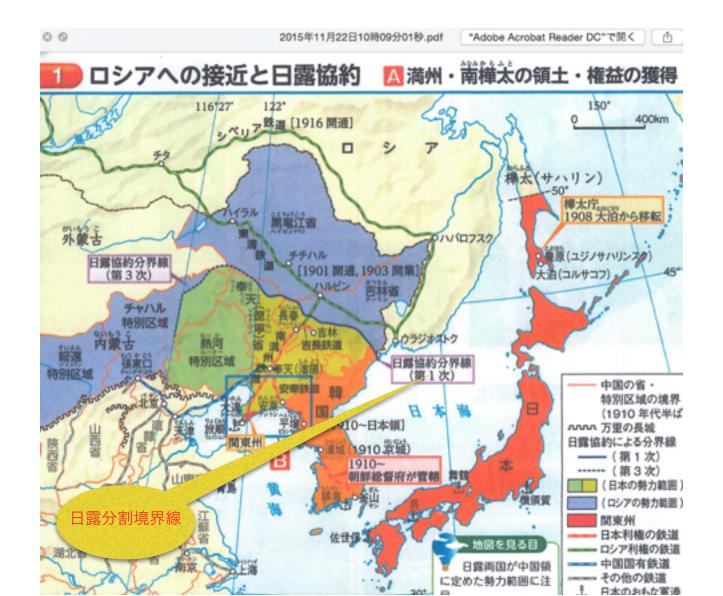
す。鉄道は線路だけではなく安全に列車が運行出来るようにその周りの土地が付属地として日本の統治となりますから、そこには日本の軍隊が警備の目的をもって常駐することになります。

(2)関東都督の設置

1906年9月上記地図の領域を日本国が関東州と命名し、統率機関として関東都督を置きます。

軍事、民政の両面を治める都督には陸軍大将又は中将が任命されます。 鉄道経営の為に半官半民の南満州鉄道株式会社(満鉄)を設立します。この鉄道 経営を巡ってアメリカとの約束を反故にすることについては、後述しますが、 この会社を経営するには相当の借入金が必要であったと思われます。どこから資 金を調達したか調べることができませんでした。

この関東都督は1919年に<mark>関東軍を擁する関東庁</mark>に引き継がれます。太平洋戦争への引き金がここに播かれたのです。次項で記しますがロシアとは仲良くなり満州(東三省)の支配権を南北に分け合います。地図上で確認しましょう (第1次日露協約・1907年)



2, 第4次まである日露協約

日露戦争後ロシアは極東における南下政策をあきらめるのですが、その間隙をついてアメリカが満州へ進出するのを警戒し日本と仲良くして満州の支配を安定させようとします。この点については日本と利害が一致するので日本も歩みより1916年まで4度の協約を結びます。

小村寿太郎はポーツマス条約締結後

「今後東アジア、満州における平和維持のために、両国は合提携して第3国に対抗しなければならぬ」

と発言しています。

(1)1907年・第1次日露協定・

満州での勢力範囲を南北に分け、韓国での日本の優越的地位の承認、ロシアの 外蒙古での特殊地位の承認

(2)1910年・第2次日露協定・

アメリカの提案してきた南満州鉄道中立化に日露が満州における鉄道権益 (ロシアの東清鉄道)を確保するために反対。

(3)1912年・第3次日露協定・

勢力分割線を延長して、新たに内蒙古を東西に分割して支配する 中華民国の成立によってその支配が内蒙古に及ばない内に、仲良く分けて支配するという内容

(4)1916年・第4次日露協定・

両国以外の国が中国を支配するのを阻止する。第一次世界大戦に互いに協力する。

ロシア側の思惑はドイツとの戦争が予見され、イギリスとは仲良くしたい、 日露協約は日英同盟を通じてロシアがイギリスとの関係が改善出来ると考えも りました

これらの協約はロシア革命(1917年)によって消滅します。

私見·

日本は太平洋戦争の終結をロシアに依頼しますが、過去の友好関係を当てにしたのでしょうか?

3, 桂=ハリマン協約破棄・日米関係の悪化・

日露戦争開戦の二日後、戦費調達のため高橋是清はアメリカに向かうも引受るものなく、ロンドンに向かいます。ロスチャイルドに申し込みますが当時ロスチャイルドはロシアの支配下にあるバクー油田の利権を獲得していたために引き受けは拒否されます。

ロンドンの複数の銀行が半分の5000万円(現在価値1800億円)を引き受けてくれます。このの引き受け商談を記念して銀行団が祝宴を開いてくれます。 高橋是清の隣に座っていたのが有名なヤコブ・シフです。

ヤコブ・シフはわざわざ本国のアメリカから来ていたのかどうか分かりませんが 残りの半分を引き受けるとこと約します。

本国に帰ったシフは鉄道経営に共に関心のあるハリマンに話しを持ちかけ二人 (又は以上)で分担して引き受けてくれます。

ハリマンとヤコブ・シフは興味深いです。

(1)ハリマンの野望・アメリカの夢

ハリマンはアメリカの鉄道王で太平洋〜日本〜シベリア〜欧州〜大西洋を連絡する世界一周の交通機関を統一支配することを夢見ていましたが、その最難関が南満州鉄道と東清鉄道の買収でした。アメリカは中国への進出に遅れをとっていましたので満州の門戸開放・機会均等を主張し続けていました。

ポーツマス条約交渉が始まったばかりの時期にハリマンは訪日します。

彼は抱いている夢を語りそれを「日米共同管理」でやりたいと桂首相に話しす。 日本も戦費に事欠く財政状態でしたので桂首相にとっては渡りに船の話しでした

「南満州鉄道を日米の共同管理にしておけば、日露の緩衝地帯になるばかりでなく。ロシアの復讐にも対処できる」と井上馨も賛成します。

ハリマンを盛大に歓待します。その歓待ぶりをみて「原則了解を得た」とハリマンは考え韓国・満州を視察の後帰国しますが、祝宴は9月5日の日比谷焼き討ち事件の当日夜でした。現場付近のからハリマンを帝国ホテルに送り届けるために政府がとった行動は慌中最高のものであったようでハリマンは感激します。

1905年(明治38年)10月12日、桂首相は「満州鉄道日米共同管理に関する予備 覚書」を交換しますが、4日後ポーツマス条約で全権大使を務めた小村寿太郎が 帰国して、桂首相、井上馨、山県有朋ら政府重鎮と会談してハリマン協定を破棄 させます。 小村の主張「10万同胞の流血と20億の財幣を犠牲にしてあがない得た満州鉄道をアメリカに売却し、満州を外国商業の自由競争の修羅場と化することは、到底国民の忍が能わざることである」「南満州鉄道に要する5000万~1億の資金は必ずしもハリマンの力を仰ぐの要なし。別の支弁の途あり。不肖、寿太郎敢えてその任に当たるも可なり」

全権大使といえども外務大臣が首相の為した約束を反故にさせうる力があったのか? ポーツマス条約調印後、ロシアとの約束があったのか?

資金の目途がたっていたのか?興味ありますが「日本史B」から外れますので割愛

ハリマンの復讐かどうか定かではありませんが1906年サンフランシスコで日本人 学童排斥事件、日本人移民排斥事件が激化しています。

1908年高平・ルート協定で緩和されますが、その見返りは清国での商業上の機会均等を確認しています。

1909年、アメリカは南満州鉄道の中立化を列強に提案しますが日露は共同で拒否します。これが第2次日露協商となります。その後もアメリカは4度満州鉄道への意向を示しますがことごとく失敗をしています。

(2)ヤコブ・シフの力

ハリマンを高橋是清に紹介したヤコブ・シフは総額2億ドルを日本に融資し、日本政府に招聘され明治天皇より最高勲章の勲一等旭日大綬章が贈られています。 現代でもその子孫が世界に影響を与えているようです。

ヤコブ・シフ (1847~1920)フランクフルト生まれのユダヤ人でその家系は1400年代までの系図があり、フランクフルトの旧ユダヤ人街で一軒家をロスチャイルド家と共有して住んでいたことがあるとのこと。

1865年ニューヨークへ、5年後アメリカに帰化します。

1875年 クーン・ロープ商会に入社、その経営者ソロモン・ロープの娘と結婚 クーン・ロープ商会は後にFRBの創設の主役ポール・ウォーバーグも参加している 世界的に有名な会社です。

同社は国債を取り扱いながら鉄道事業にも参入しており、ここでハリマンと組み、 日露戦争後の満州における鉄道利権獲得を目指します。同社はロックフェラーとも 関係があります。

1920年・ヤコブ・シフが死亡し、クーン・ロープ商会はリーマン・ブラザーズに吸収されました。

2008年9月15日、リーマン・ブラザーズ社が倒産して世界的金融危機が生じたことは記憶に新しいことです。

ヤコブ・シフが語った日本への融資の理由は「ロシアで大規模なユダヤ人迫害運動 ポグロムへの復讐である。ロシア帝国に対して立ち上がった日本は神の柱である」 (回想録) 同胞を助け、安心して住める場所を求めていたようである。

私見と謎

小村寿太郎が調達を約束した人物は誰かは私には分かっていません。アメリカ人説、イギリス人説の諸説がありますが、ポーツマス条約調印の折りに会える人物は多くはないと思われます。ハリマンは大統領密使とも言われていましたがヤコブ・シフの活動舞台は遙かに広く世界中にネットワークを持っていました。南満州鉄道は追害されたユダヤ人を救出するためにも必要であったとも考えられます。満州との国境沿いのシベリアにユダヤ人自治区が今もあります。

4. 韓国併合とその後の支配

今、韓国と慰安婦問題で外交関係が上手くいっていないと言われていますが、韓国 併合を学ぶとそれは韓国民が受け継いできた大きな傷痕の一点にすぎないと思われ ます。前回と重複しますが「日本史B]水準を保つために再度まとめます。

(1)1875年「日朝修好条規」

江華島事件を機に不平等な「日朝修好条規」の締結から朝鮮への進出が始まります

(2)1904年「日韓議定書」

日露開戦後、2週間足らずのうちに「日韓議定書」を韓国に強要

「第4条 第三国(事実上ロシア)の侵害によって、大韓国が危険にさらされた場合は、日本はすぐに必要な処置をとる。日本は、そのために、朝鮮半島内において、軍事上必要な地点をいつでも利用することができる」

日露戦争を戦うために島国の日本には兵站基地が必要でした。日露戦争に中立の立場をとった朝鮮の意向を無視して仁川に上陸し開戦の火ぶたをきりました。

(3)1904年8月、「第1次日韓協約」

開戦から半年後「第1次日韓協約」を強要

「韓国政府は、日本政府が推薦する財務顧問をみずから招き、すべてその意見に従って財政を運用すること。

韓国政府は、日本政府が推薦する外国人1名を外交顧問として、みずから招き、外 交についてはすべてその意見に従うこと」「~すべし」と結んである)

(4)1905年、桂=タフト協定、

日本政府は戦争終了後の韓国支配についてアメリカに承認してもらうための準備を 開始します 桂=タフト協定、内容は「アメリカは日本の韓国にたいする植民地支 配を黙認する。その代わりに、アメリカが当時進めていたフィリピン統治を日本は 邪魔をしない」

イギリスには第2次日英同盟を結んで関係を強化し、韓国の保護国化を承認する 同年、「第2次日韓協約」を強要

「日本国政府はは、東京の外務省で、今後、韓国外交の全てをおこなう {在東京外務省}日本の外交代表は、外国においても、韓国の人々の利益を保護することとする。

日本国政府は、その政府代表者として、韓国皇帝のもとに統監を置く。韓国統監は韓国の外交について、これを管理するために京城に在駐し、常に韓国皇帝陛下に面会することができる」

韓国の外交権を剥奪し、初代統監には伊藤博文が就任しました。

(5)1907年「ハーグ密使事件」

外交権を奪われた韓国皇帝・高宗がオランダのハーグで開催されていた第2回万国 平和会議に密使を送り苛酷な日本の植民地支配を国際舞台で解決を求めましたが、 この会議を呼びかけたロシア皇帝はこの年日露協約が結ばれたばかりであり、韓国 に外交権がないとして追い返しました。

当然の結果、韓国内で抗日義兵闘争が全土に拡大します。それに対抗するかのよう に日本政府は内政権を奪う「第3次日韓協約」を強要

「韓国政府の発する法律およびさまざまな行政については、すべて統監の承認を経 なければならない。韓国の高等官僚の任命及び罷免については、統監の同意が必要 である」

韓国軍隊を解散させます。解散させられた韓国の軍隊の一部はゲリラ化(義兵と呼ばれる)し激しい抗日戦線を作り上げます。

(6)1908年、「東洋拓殖株式会社」を設立

植民地経営の先頭に立つ国策会社「東洋拓殖株式会社」を設立

(7)1909年、伊藤博文がハルピンで暗殺される。

抗日運動の鎮圧を理由に日本軍を増派し憲兵隊を常駐させて警察権も奪取した。犯人には諸説あり、韓国独立運動の英雄、安重根と言われてます(5年前の教科書)

(8)1910年8月、韓国併合

日本国政府は「韓国併合に関する条約」を結んで韓国を完全に植民地化しその支配は1945年8月まで続くことになります。植民地化以上の支配があります。

「第1条、韓国皇帝陛下は、韓国に関するすべての権利を含む統治権を、完全かつ 永久に天皇陛下に譲る。

第2条、天皇は前条の譲与を受諾し、韓国を日本帝国の中に併合することを承諾する」

{さし上げますから、もらって下さい} {よし、受け取ろう} という形に文章が作られています。

国号を「朝鮮」として大韓国帝国が世界地図から抹消されました。首都、漢城を京城と改め、朝鮮総督府を京城に置いた

植民地と言うよりも人民を大日本帝国の天皇の皇民化を狙い、これら一連の韓国支配にかかる条約等の文章は陸軍関係者によって草案されていました。

初代総督は陸軍大臣・寺内正毅が兼務、朝鮮総督府は天皇に直結する機関で総督は 陸海軍大将から任命されることになりました。軍隊が警察の役割も担う「憲兵政治 =軍人が警察官を兼ねる」が始まります。後に同じことが国内でも実施されます。

韓国の人民は日本の絶対性天皇を知らないわけでその意味を早急に知らしめる必要があり、又憲兵政治が朝鮮内でスムーズに機動するための教育方針が「朝鮮教育令」 として公布され日本語教育と天皇崇拝の教育が始まった。

時を同じくして1910年には国内では「大逆事件」(大冤罪事件)が起こされます。(項を改めて記します)

(9)韓国支配の進展は次の通り

- ①1920年、朝鮮産米増殖計画実施ーー増産米は日本へ移出、朝鮮内の食糧事情 悪化
- ②1925年、京城に官弊大社、朝鮮神宮を造り天皇崇拝を強制する。
- ③1938年、日本語の常用を強制
- ④1938年、朝鮮人強制連行始まる

- ⑤1940年、創氏改名を強行ーー皇民化のため朝鮮の姓名を日本式の姓名に変更 させた。
- ⑥1943年、朝鮮人民に徴兵制施行

私見

韓国の人々に天皇制を受容させようと早期に教育を始めたとはいえ、実際に他国の元首の支配には根源的な抵抗があるものであることを分かっていた政府要人は天皇制を恐怖政治として、韓国民に見せることが必要であった。その為の事件を日本国内で起こした。それが、所謂「大逆事件」であると私は考えています。その文脈で次に「大逆事件」の概要を記します。

5、大逆事件

事件は1910年5月、韓国併合の年に起こった。

日清戦争のときには見られなかった反戦論・非戦論が日露戦争のときにはあり、内村鑑三、幸徳秋水、与謝野晶子らが有名です。政府はこうした思想を反体制的な言論活動として警戒、監視を強化していきます。特に共産化は天皇制の否定と考えられて、ある意味で恐れられていました。

(1)1908年、赤旗事件が起きる。

社会主義者の荒畑寒村らが真っ赤な地に「無政府共産」という文字を白縫い取りの入った旗を立てて街に繰りだそうとしたところを警察隊と衝突し、大杉栄、堺利彦、山川均、荒畑寒村らが逮捕検挙され、禁固刑に処せられた。

(2)1910年5月25日、明科事件が起きる。

信州安曇野に住む宮下大吉ら4人が天皇暗殺のため爆裂弾を作ったという嫌疑で逮捕された。宮下が幸徳秋水と親交があるということで政府は関係者26名を一斉に逮捕、容疑は天皇に危害を加えようとした罪=大逆罪である。翌年1月18日大審院は被告24名を死刑と判決し、12名を1月24-25日に処刑した。

(3)「大冤罪事件」であった

この裁判で弁護人を務めた文学者・平出修の資料から現在では幸徳秋水らは天皇暗殺計画とはまったく無関係であり、警察と検察がでっちあげた日本近代史上に残る「大冤罪事件」であることが明らかにされています。

(4)韓国併合との関連性

韓国併合の進捗時間と照らし合わせると5月30日、陸軍大将寺内正毅が韓国統監に任命される。6月3日の閣議で併合後の韓国に対し憲法は施行せず、一切の政務を統括する総督を置くことを決定し初代総督は統監の寺内正毅が就任。総督は天皇直属の機関とされた。

私見・軍部による天皇利用の始まりが内外に示された事件であると考えます。

複雑に絡み合いながら進行する歴史を単純化する為に教科書にある時の総理大臣等は割愛して記述しましたが、日英同盟を結んだ第1次桂太郎内閣が日比谷焼き討ち事件で総辞職の後、西園寺内閣が引き継ぎ赤旗事件で総辞職に追い込まれ、第2次桂太郎内閣であったことは試験によく出ますので要注意。日露戦争の戦況を知らされなかった人々が重税に堪えかねて引き起こした日比谷焼き討ち事件も、日露戦争後の重大事件として記憶しておいて下さい。この他に植民地経営として台湾と樺太もあります。台湾と朝鮮の植民地経営の違いについては大学で深く学んだ記憶が私にはあります。

6、日露戦争時の反戦・非戦活動家とその予言

日露戦争開戦には慎重な姿勢であった政府を「満州問題に関する7博士の意見書」 等により開戦論が高唱されましたが、一方では反戦・非戦論が開戦前から有りました。内村鑑三、幸徳秋水、女性では与謝野晶子らが有名です。

(1)幸徳秋水の反戦論・非戦論と増税批判

「吾はあくまで戦争を非認す。戦争は道徳的に見て恐るべき罪悪なり、政治的に見て恐るべき害毒なり、経済的に見て恐るべき損失なり。社会の正義は戦争のために破壊され、万民の利益は戦争のために蹂躙せらる」

この戦争は外債に頼らなければならないほど日本の国内経済は疲弊した状況にありロシアは日本が戦争を始めるとは考えていなかったほどです。然し開戦し1904年には2度に渡る「非常特別税法」の施行により国民は前年の2倍の税金を納めなければなりませんでした。軍事費の国家予算に対する比率は1904-05の2年間は80%を超えています。(1944年も85%を超えています)

増税に苦しむ国民の実情を幸徳秋水は次のように述べています。

「ああ、6000万円(現在価格予想2100億円)の増税、苛重なる増税よ。

是れ、実に戦争のためなるべし。然れども如何に戦争の為とはいっても、富財は自然に天より降るものに非ず、地より湧くものに非ず。之を負担する国民の苦痛は、

依然として苦痛ならざる可らず(苦痛はずっと続いている)国民は一粒の米を増せるに非ず。武威四方に輝くとも国民は一領の衣を得たるに非ざる也。

多数の同胞は鋒てきに曝され、その遺族は飢餓に泣き、商工は萎え果て、物価は高騰し、労働者は職を失い、小官吏は俸給を削られ、軍債の応募は強いられ、貯蓄は促され、その上多額の苛税となって、一般細民の血を涸らし、骨をえぐらずんば已まざらんとす」

この文は1904年3月27日の平民新聞の記事ですから第一回目の「非常特別税法」の時の批判です。未来を喝破する力も発揮しており、1901年に「20世紀の怪物・帝国主義」を発表して、帝国主義の定義を「愛国心を縦糸、軍国主義を横糸に成立している」と明確に表現しています。レーニンの「帝国主義論」より16年も早いことは驚くべきことです。平和憲法草案も日本発であることと同じように忘れさられている一事です。

(2)与謝野晶子の勇気

「ああ、弟よ、君を泣く。君死にたまうことなかれ」で有名です。 彼女もその筋から大いなる批判を受けますが反戦の声は衰えることはありませんで した。

「当節のように死ねよ、死ねよと申し候こと、又なにごとも忠君愛国などの文字や 畏れおおき教育御勅語などを引きて論ずることの流行は、この方かえって危険と申 すもの」と堂々と語っています。

(3)トルストイの反戦

ロシア側では「戦争と平和」の著者トルストイが日露戦争にも反戦の意を表しています。それを読んだ幸徳秋水は「古代の聖賢若しくは予言者の声を聴く思いありき」と評しています。

(4)徳冨蘆花の予言

トルストイを尊敬し、ロシアに訪ねた蘆花は

「日露戦争の終局に当たり、一種の悲哀、煩悶、不満、失望を感ぜし者、幾人がある。中略-----

一歩誤まらば、(日本)の勝戦は即ち亡国の始めとならん。而して世界未曾有の人種的大戦乱の源とならん」

日露戦争の意義は太平洋戦争への警告であったと言えるでしょう。